

高市大臣冒頭メッセージ

平成 19 年 6 月 11 日（月）
第 12 回 沖縄振興審議会

委員の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、本日の審議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、国会審議のため、やむを得ず欠席させていただきますので、このメッセージを挨拶に代えさせていただきます。

今回の審議会は、本年 4 月の委員の再任、新任を受け、今期委員による初めての会議となります。新たにご就任いただいた委員の皆様方におかれましては、沖縄の振興について忌憚きたんのないご意見を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

今年度は、沖縄振興計画後半のスタートに当たる重要な年です。3 月に当審議会においてとりまとめていただいた「沖縄振興計画後期展望」においては、計画後期に向けて「より一層の選択と集中」、「高付加価値化・ブランド化」、「沖縄らしさを活かした県づくり」等、多くの重要な御指摘をいただいたところであり、政府としても後期展望のご指摘を踏まえつつ、引き続き産業の振興、雇用の創出などをすすめ、沖縄の振興をより一層推進していく所存でございます。

また、自立型経済構築の更なる推進を担うのは「人」という考え方のもと、人材の育成に力を入れていくことが重要です。このため、沖縄の地で沖縄の若者に、アジア・日本各地の若者との共通体験を通して交流を深め、国際感覚豊かな人材を育成するため、「アジア青年の家」構想を提唱したところであり、来年夏に開催すべく準備を進めております。

計画の目標とする自立型経済の構築は未だ道半ばであります。委員の皆様におかれましては、前年度の審議会にまさる活発なご議論とともに、貴重なるご提言を賜りますようお願い申し上げます。